

社会教育・文化振興課からお知らせ

佐川美術館 企画展

戦後日本画壇の風雲児

よこやまみさお
日本画家 横山操展

大胆かつ豪放な作品を描き、戦後日本画壇における風雲児と称された日本画家・横山操(1920-1973)の美術展への出品作、無所属で活躍していた時代の作品など、代表的な大作を含めた画業を振り返る名品の数々を約60点展示。県では初の開催となる横山操の作品の魅力を存分に紹介します。

時 5月15日(木)～7月6日(日)

午前9時30分～午後5時(入館:午後4時30分まで)

¥・一般1,300円

・高大生900円

(学生証要。専門学校・専修学校を含む)

※中学生以下(保護者同伴要)、障害者手帳をお持ちの人(手帳要)と付添者(1人)は無料

他 事前にウェブ予約・ネット決済で入館チケットを購入してください。詳しくは、右記HPをご覧ください。



佐川美術館
ホームページ

所・間 佐川美術館

☎(585)7800 FAX(585)7810

土木管理課からお知らせ

びわこ地球市民の森のつどい (森フェス) 2025

広大な旧野洲川の廃川敷地で開催されるイベントです。市民の皆さまはもちろん、滋賀県や琵琶湖下流域の他府県にお住まいの多くの皆さまもご参加いただけます。さまざまな体験などを通じて、新しい森づくりについて考えてみませんか。

時 6月1日(日)午前10時～午後3時(小雨決行)

所 びわこ地球市民の森 里の森ゾーン

(水保町2727)

内・ネイチャーゲーム、ウォークラリーなどの体験
 ・子どもたちによる遊戯・演技
 ・キッチンカーの出店 など

他 第3駐車場(P3)をご利用ください。



びわこ地球市民の森
ホームページ

間 びわこ地球市民の森 森づくりセンター

☎(585)6333

横山操展」では、初期から晩年までの約60点を展覧します。操が生きた「いま」が飾ることなく素直に表現された作品の数々をご堪能ください。

佐川美術館で開催中の「戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展」では、初期から晩年までの約60点を展覧します。操が生きた「いま」が飾ることなく素直に表現された作品の数々をご堪能ください。

戦後に活躍した日本画家の横山操(1920-1973)の場合、画家が見た「いま」(自然現象や現代的な構造物)をテーマに描いて一世を風靡しました。代表的なものは、鹿児島を訪れた際に偶然遭遇した桜島の噴火や、日本の高度経済成長によって建造された送電塔をはじめとした構造物、下町の生活や人間の営みを感じさせる風景などです。

操は日本画の在り方について、「過去でも未来でもなく、いま描いて生活している現在でなければならぬ」と語っています。操の言う「いま」とは生きている時代や実生活という現実を指しており、自然現象や現代的な構造物を通してこの思いを描き出しました。大迫力でエネルギーに満ちあふれた作風で「いま」が表現された作品は、美しいだけでなく人々に親近感や共感を与えることで人気を博し、操の代名詞となりました。

絵画作品の鑑賞のポイントとして、画家が何を描いたのかを知ることが大切です。多くの画家にとつて主題(テーマ)やモチーフは、その画家の生きざまや思いが詰め込まれるだけでなく、生涯の創作活動を通して画家の代名詞ともなります。モネであれば「睡蓮」、平山郁夫であれば「シルクロード」など、そのテーマだけで画家の名前を連想させることができます。

学芸員 佐川美術館
栗田 頌子



「いま」を描く日本画家

佐川美術館「アートコラム」93

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話☎(585)7800でお問い合わせください。